恐るべき親達（1948）

LES PARENTS TERRIBLE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
時間 98分
初公開日 1949/07/22
公開情報 ＳＥＦ＝東宝

【解説】

息詰まるような室内劇で、コクトー自作の同名戯曲（３９年初演）が原作。イヴォンヌ（Ｙ・ド・ブレー）は一人息子ミシェル（Ｊ・マレー）を溺愛しており、その恋人マドレーヌ（Ｊ・デイ）の出現に憤りを隠さない。息子は叔母レオ（Ｇ・ドルジア）の薦めで父ジョルジュ（Ｍ・アンドレ）に相談するが、恋人の名を聞いて父は仰天する。マドレーヌは彼の愛人だったのだ。一家はミシェルに促され、マドレーヌの家を訪問することに。マドレーヌは父に“他に恋人がある”とミシェルたちに言うよう強制され、一家を思って涙ながらに従う。母は大喜びし、ミシェルは悲しみに沈む。事情を知ったレオに、愛人を諦めるよう説得されたジョルジュは息子に、マドレーヌの言葉をまともにとるな、と慰める。そこへ、マドレーヌが訪れる。それまで、絶望に、家出を口にしていた息子が喜びに小躍りするのを見た母は、悲嘆のあまり卒倒。今度はレオに夫をとられる番だと思い込むのだが……。狂気の母親をド・ブレーが熱演。コクトーの演出はそれなりに映画的創意は凝らしているのだけれど、いかんせん、画面が窮屈な感は否めない。にしても、彼のこの母性嫌悪の源はどこにあるのだろう？

【クレジット】

監督	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
製作	アレクサンドル・ムヌーシュキン	Alexandre Mnouchkine
原作	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
脚本	ジャン・コクトー	Jean Cocteau
撮影	ミシェル・ケルベ	Michel Kelber
音楽	ジョルジュ・オーリック	Georges Auric
出演	ジャン・マレー	Jean Marais
	イヴォンヌ・ド・ブレー	Yvonne de Bray
	ジョゼット・デイ	Josette Day
	ガブリエル・ドルジア	Gabrielle Dorziat
	マルセル・アンドレ	Marcer Andr

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.